

JIS A 6916



JTCCM

認証番号

TC 08 08 131

プレミックスK2

タイル張付材・下地調整材
(ポリマーセメントモルタル)

JIS A 6916(CM-2)認証製品

荷 姿



25kg紙袋

適 用 塗 厚

タイル張付材として

5~8mm

下地調整材として

2~5mm

標準施工面積

約2.5m²/袋
(6mm)

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1109017
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用

プレミックスK2は、高性能な粉末樹脂を配合した陶磁器質タイルのコンクリート直張り工法に対応するプレミックスポリマーセメントモルタルです。
2~5mmまでの下地調整材としても使用できます。

製品仕様

適用下地	コンクリート、モルタル、押出成形セメント板、ALCパネル
適用部位	内外装壁面、内外装床面
適用化粧材	(壁面) 小口平タイル、二丁掛タイル、ブリックタイル、大型タイル (床面) 床タイル、石材(※)

上表以外の適用につきましては、お問い合わせください。

(※)事前に本工事で使用する石材を用いて試験施工を行い、施工方法および接着強さ等を確認してください。
吸水率の高い石材につきましては、接着性向上やアク止め対策などのため、石材裏面にシーラー処理を行うことを推奨します。(別売アク止め推奨品名：シーラーA)

試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

タイル張付材として

二瀬窯業(株) 試験室

項目 [単位]	試験結果	品質性能基準
保水率 [%]	88.9	80以上 95以下
単位容積質量 [kg/ℓ]	1.88	1.80以上
接着強さ [N/mm ²]	標準養生 2.21	0.6以上
	湿冷繰返し 10サイクル後 1.76	0.6以上
長さ変化率 [%]	0.14	0.20以下
曲げ強さ [N/mm ²]	11.7	8.0以上

品質性能基準：JIS A 6916 付属書A タイル張付け用モルタルの品質

下地調整材として

二瀬窯業(株) 試験室

項目 [単位]	試験結果	品質基準
軟度変化 [%]	7.4	-20~20
耐ひび割れ性	ひび割れなし	ひび割れがない
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれなし	ひび割れ及び剥がれがない
曲げ強さ [N/mm ²]	11.7	5.0以上
圧縮強さ [N/mm ²]	34.0	10.0以上
付着強さ [N/mm ²]	標準養生 2.4	1.0以上
	低温養生 0.8	0.7以上
吸水量 [g]	0.6	2.0以下
透水量 [ml/h]	0.27	0.5以下
長さ変化率 [%]	-0.13	0~-0.15
仕上材が複層 仕上塗材の場合の 耐久性 [N/mm ²]	外 観 割れ、膨れ及び剥がれなし	割れ、膨れ及び剥がれがない
	付着強さ 1.6	1.0以上
仕上材がセラ ミックタイルの場合の 耐久性 [N/mm ²]	付着強さ 2.0	0.6以上

試験方法：JIS A 6916(CM-2)



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

関連資材



(一社) 公共建築協会
建築材料等評価名簿掲載材料
吸水調整材 (モルタル用)

ユニレックス3

[18kg/缶]

塗布型吸水調整材
(EVA系合成樹脂エマルジョン)

施工方法

※施工の前には必ず施工要領書をご請求のうえ、よく読んで理解した後で施工を行ってください。
※下記施工方法は、施工の大まかな手順について説明しています。

— 施工方法 — 下地調整 —

- 1. 下地処理**
下地の脆弱層・レイタンス・油脂分などをワイヤブラシやサンダー、高圧水洗等で除去してください。下地がコンクリートの場合は接着界面が平滑にならないように超高压水洗などによる目荒らしを行ってください。
- 2. 吸水調整**
下地の乾燥後、ユニレックス3の5倍希釈液を刷毛等でムラなく塗布してください。
- 3. 材料の混練**
プレミックスK2 (25kg) に水道水を約4.7ℓ加え、モルタル用かくはん機等の機械器具で練混ぜてください。練混ぜた材料は夏期40分以内、冬期60分以内に使い切ってください。
- 4. 塗付け**
下地に一度しごき付けるように塗りつけ、一回の塗り厚5mm以下になるように重ね塗りしてください。塗り厚が5mmを超える場合は3日間以上養生してから重ね塗りしてください。
- 5. 養生**
直射日光・強風・降雨・降雪をうけるおそれのある場合は、シート掛け等により養生してください。

— 施工方法 — タイル張り(壁面/床面) —

- 1. 下地処理**
下地の脆弱層・レイタンス・油脂分などをワイヤブラシやサンダー、高圧水洗等で除去してください。下地がコンクリート壁の場合は接着界面が平滑にならないように超高压水洗などによる目荒らしを行ってください。
- 2. 吸水調整**
下地の乾燥後、ユニレックス3の5倍希釈液を刷毛等でムラなく塗布してください。
- 3. 材料の混練**
プレミックスK2 (25kg) に水道水を約4.7ℓ加え、モルタル用かくはん機等の機械器具で練混ぜてください。練混ぜた材料は夏期40分以内、冬期60分以内に使い切ってください。
- 4. 塗付け**
下地に一度しごき付ける塗付け、所定の塗り厚になるように重ねて塗付けてください。
1回の塗り面積は15分以内にタイルを張り付けできる範囲としてください。気象条件によって乾燥速度が変わりますので適宜調整してください。
※一人工での塗付け範囲は2㎡を目安としてください。
※壁タイル張りの塗り厚の目安は、小口平タイル6mm、二丁掛タイル8mmです。
※床タイル張りの塗り厚は、クシ目コテを用いて、タイルサイズや仕上厚さを考慮し、タイルを張り付けた後にタイル裏面全体へモルタルが十分に密着できる厚さとしてください。クシ目山高さの目安は、10～20mm程度です。(クシ引き角度60°)
※壁タイル張りの場合は、塗付け面にクシ目を入れるとタイル裏足内への充填不足が生じ、接着耐久性低下の要因となりますので、クシ目は入れないでください。
- 5. タイルの張付け**
タイルの張り付け工法は、現場の仕様に従ってください。壁タイル張りでは、密着張り又は改良圧着張り、床タイル張りでは圧着張り又は改良圧着張り、いずれかの方法を「JASS19 セラミックタイル張り工事」の仕様にしたがって張り付けてください。施工中、適宜にタイルを剥がし取り接着状況(タイル裏面への充填)の確認を行ってください。目地直しは、速やかに行ってください。張付材層が固くなって無理やり動かすと、接着界面にズレを生じさせてしまい、剥離の原因になりますのでご注意ください。
- 6. 養生**
直射日光・強風・降雨・降雪をうけるおそれのある場合は、シート掛け等により養生してください。目地詰めは2日間以上経過してから行なってください。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。

1. 製品の保管は、屋内の湿気の少ない場所で、パレット等に乗せて床から離してください。
2. プレミックスK2の品質保持期間は、製造後4ヶ月です。
3. 固まったものの使用は避けてください。
4. 気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないでください。
5. プレミックスK2には練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
6. プレミックスK2のお取扱いに際しては、適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用のうえ、適切な安全対策を実施してください。



プレミックスK2は安全に正しくお使いください。



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求ください

20260123.23

プレミックスモルタルの総合開発メーカー

二瀬窯業株式会社

<http://www.futaseyogyo.co.jp/>

本 社 ・ 工 場 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

福 岡 営 業 所 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

東 京 営 業 所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル 2F
〒105-0014 tel(03)6453-6685 fax(03)6453-6686

関 東 工 場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 tel(0438)30-7372 fax(0438)30-7472

名 古 屋 営 業 所 愛知県清須市西枇杷島町井天45 ヤマモリビル 1F
〒452-0006 tel(052)509-2485 fax(052)509-2486

大 阪 営 業 所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル 2F
〒552-0002 tel(06)6583-3310 fax(06)6583-3325